

～數井G～

効果的な環境啓発で 社会を変える！



片山湧太・金田嵩平・戸田樹・飯田明希・吉田星

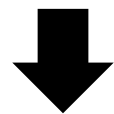
発表内容

- ▶ 活動の背景
- ▶ 活動の目的・目標
- ▶ 活動の概要
- ▶ 各活動の報告
 - ① 啓発展示・環境パネルについて
 - ② 環境教材について
- ▶ 全体のまとめ

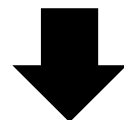


活動の背景

持続可能な開発へ



次の世代への教育の必要性



持続発展教育：ESD

活動の目的①

持続発展教育：ESD

啓発



ステップ①

意識の向上
(認知・知る)



ステップ②

行動を変える

活動の目的②

我々学生：活動を通じ、以下の力を深める

- ▶ 社会への発信力
- ▶ 多様な視点による環境への理解力



活動の概要

★取り組んだこと★

- ▶ ①啓発展示・環境パネルの作製
→プラザ内にて展示
- ▶ ②環境教材の作製
→プラザ主催の「環境教室」にて使用



各活動報告 啓発展示

活動内容

環境教室にて使用した「環境教材」
を展示

→補足資料も交え、より興味・関心
を引くように工夫

実施期間：9月1日～9月30日
場所：大阪府環境情報プラザ



各活動報告 環境パネル

活動内容

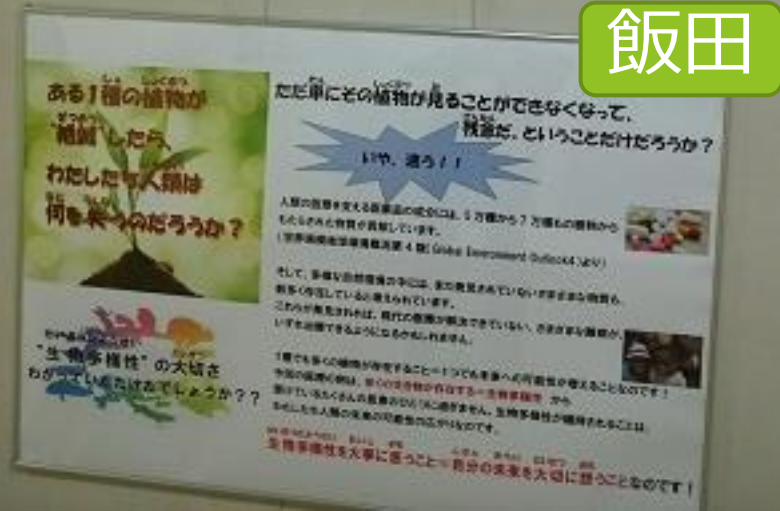
吉田



戸田



飯田



実施期間：11月9日～
場所：大阪府環境情報プラザ

金田・片山



各活動報告 環境教材

活動内容 全体

★3つの教材を作成★

- ▶ ①外来種と日本固有種を見分けるクイズ（吉田）
- ▶ ②シークワード・生き物図鑑（戸田）
- ▶ ③生き物のつながりを考えよう！（片山・金田・飯田）

使用事業：大阪府環境情報プラザにて実施の環境教室

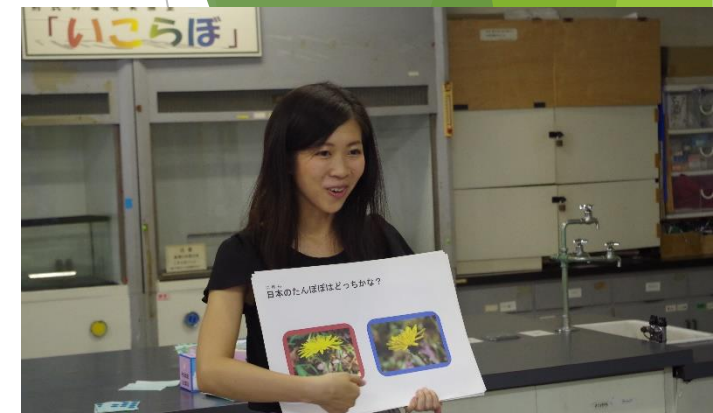
使用日時：①7月27, 31日

②7月27日、8月24日

③8月5, 20, 24日

各活動報告 環境教材

実際の教材使用の様子



各活動報告 環境教材

活動内容 全体

▶ 全体の活動目的を意識しつつ、さらに具体的な目的を考えた

→以下では、

- ・ 教材の内容
- ・ 目的、工夫点
- ・ 目的達成度に対する評価

について報告する



教材の目的達成度の評価手法

▶ 評価について

- 教材作成者による**自己評価（主観的評価）**
 - 活動目的②の「社会への発信力」を深める
 - 啓発手法の学習・振り返り
- 感想などから読み取れる**客観的評価**
 - 主観によらない客観的評価の必要性



各活動報告 環境教材

①外来種と日本固有種を見分けるクイズ（吉田）

にほん
日本のたんぽぽはどっちかな？



せいかい
正解は



× セイヨウタンポポ



○ カンサイタンポポ

花びらの下の「がく」という部分が開いているのが外国からきたタンポポ、閉じているのが日本のタンポポ。

各活動報告 環境教材

①外来種と日本固有種を見分けるクイズ（吉田）

▶ 目的

- ・ 「固有種」と「外来種」という新しい見方を提供する
（固有種・外来種について知る）
+ 生物を多様な視点から見ることができるようになる
- ・ 生物に親しむきっかけになる

各活動報告 環境教材

①外来種と日本固有種を見分けるクイズ（吉田）

▶ 自己評価（主観的評価）

- ・子供たちは楽しんで意見を出しながらクイズに参加してくれた

→生物に親しむきっかけになったのでは

※期待する一つの効果は**達成できた**

各活動報告 環境教材

①外来種と日本固有種を見分けるクイズ（吉田）

▶ 客観的評価

（感想データがなく、達成度評価は確認不能）

各活動報告 環境教材


②シークワード・生き物図鑑（戸田）

タ	ラ	コ	エ	ハ	ワ	ン	ウ	ン	ジ
ニ	シ	キ	ヘ	ビ	ヨ	ヨ	キ	ジ	レ
シ	カ	ダ	メ	イ	シ	ズ	ゴ	ツ	モ
ヒ	ツ	ジ	グ	サ	ノ	ナ	ビ	ラ	モ
ア	キ	サ	サ	ン	ボ	ギ	マ	キ	タ
サ	イ	マ	リ	ショ	リ	イ	ン	ス	ロ
ギ	ン	ガ	オ	ウ	オ	マ	ト	ブ	ス
ヤ	ル	マ	エ	ビ	イ	ル	ヒ	ヒ	ナ

		ヒメタニシ	モソゴ
		ヒツジグサ	ヤンマ
		カワヨシノボリ	イグサ
		ギンブナ	ガマ
		スジエビ	メダカ
		ショウブ	タンポポ

☉


池で見ることが出来ます。
花と葉が一枚だけ浮いているように見えます。

☉


黒っぽい色の殻を持っています。
巻にくっついていないがもしれません。

☉カワヨシノボリ

池の水の下の方にはいます。
おなかに卵をたくさん持っています。

各活動報告 環境教材

②シークワード・生き物図鑑（戸田）

▶ 目的

- ・ 自然に興味を持ってもらう

各活動報告 環境教材

②シークワード・生き物図鑑（戸田）

▶ 自己評価（主観的評価）

- ・想像していたよりも熱心に取り組んでいた
→興味を持ってもらえたのでは

各活動報告 環境教材

②シークワード・生き物図鑑（戸田）

▶ 客観的評価

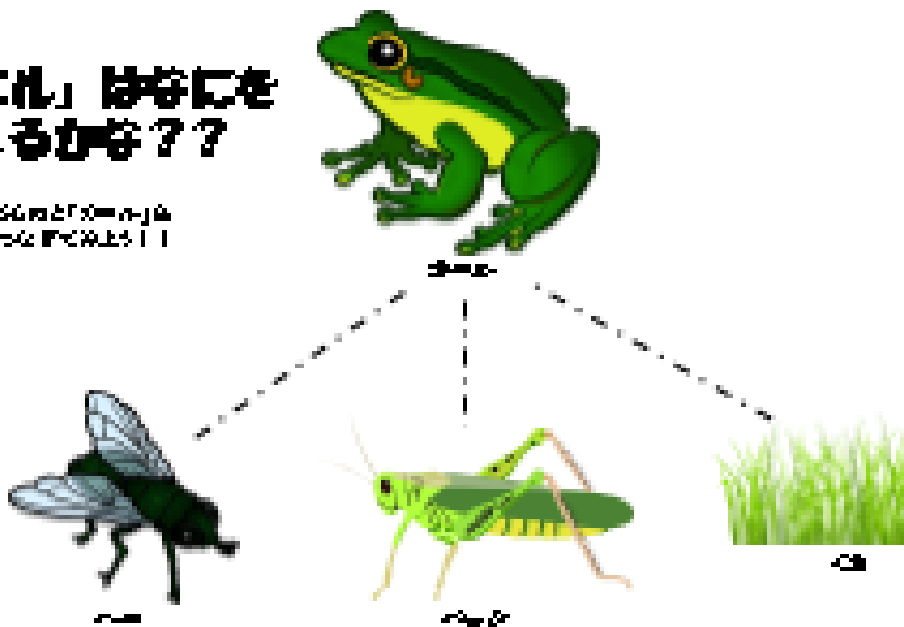
- ・「生き物の事や植物のことが分かった」
- ・「身近な生き物で知らなかった事柄等、色々と学べました」
 - 興味を持ち、知ってもらえた
 - 目的達成できた**と評価できる

各活動報告 環境教材

③生き物のつながりを考えよう！

「カエル」はなにを
食べるかな？

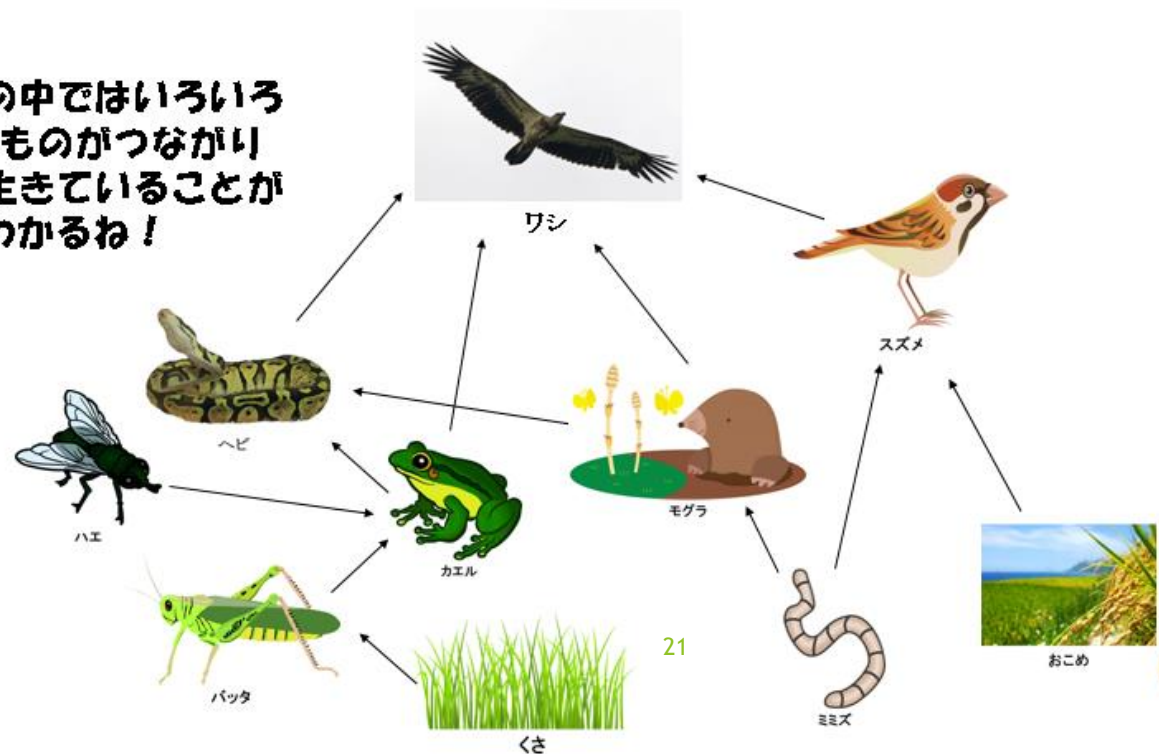
ヒメギハクチと「カエル」は
食べつなぐてあつた！



しよくもつもう

食物網

しぜんの中ではいろいろ
な生きものがつながり
あつて生きてることが
わかるね！



各活動報告 環境教材

③生き物のつながりを考えよう！


▶ 目的

- ・身近な生物の「繋がり」に気づいてもらう
(食物連鎖ではなく、食物網を理解してもらう)
- ・それぞれの生物存在の重要性を意識してもらう

各活動報告 環境教材

③生き物のつながりを考えよう！

▶ 自己評価（主観的評価）

- ・興味を持って取り組んでいた
→食物網という事を知ってもらえたのでは
- 
- ・食物網の意味、それぞれの生物存在の重要性
→理解が難しかったかも

各活動報告 環境教材

③生き物のつながりを考えよう！

▶ 客観的評価

- ・「動物に色々な繋がりがある事を知った」
- ・「自然はどこかで繋がっているという事を理解できた」
 - 生物の「繋がり」に気づいてもらえた
 - この目的は達成できた

各活動報告 環境教材

③生き物のつながりを考えよう！

▶ 客観的評価

- ・ 食物網の意味、生物存在の重要性
→感想文のデータがなく、評価できなかった

★総合的な客観的評価

- ・ 目的達成：不十分

全体のまとめ

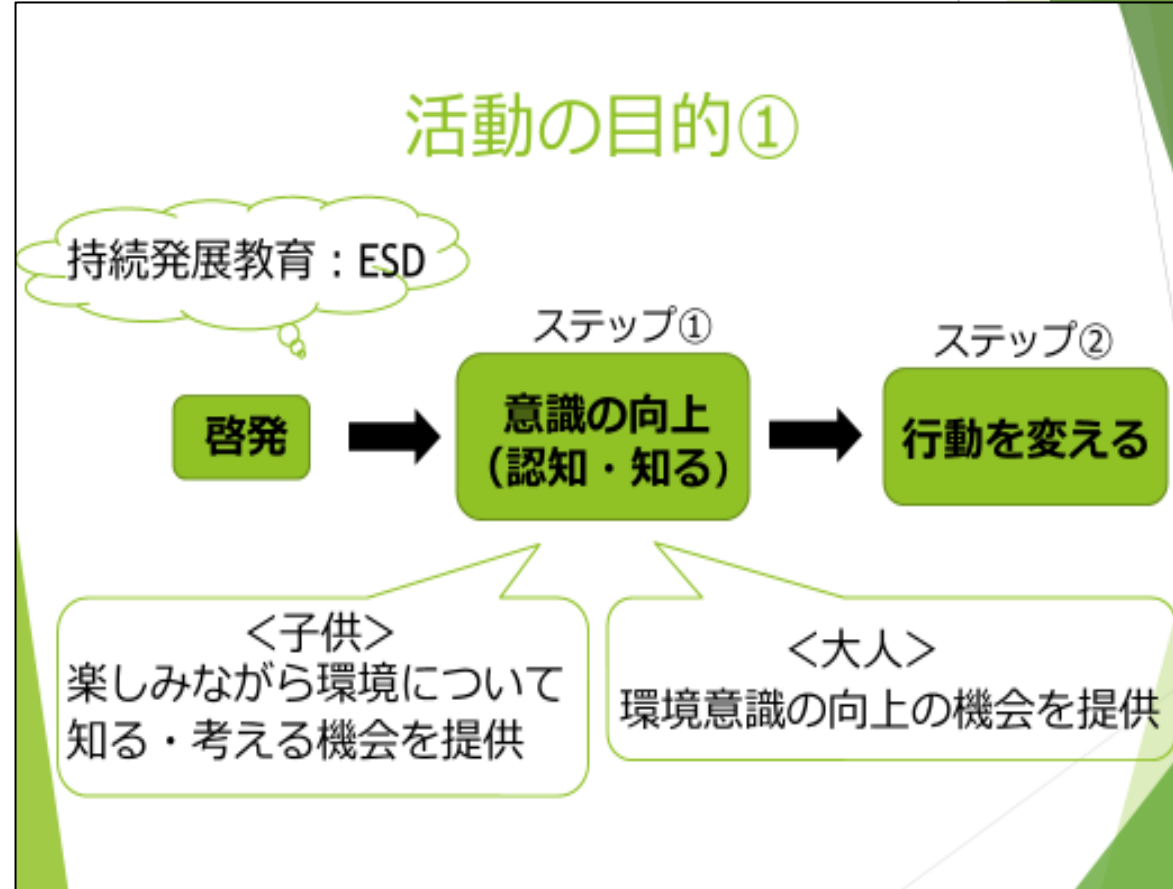
活動の評価①

▶ 活動の目的①：ステップ①

- ・達成できたと評価

▶ 活動の目的①：ステップ②

(評価できなかった)



全体のまとめ

活動の評価②

- ▶ 「社会への発信力」の向上
 - ・ 活動を通じ、啓発の手法を学習
→達成できたと評価
- ▶ 「多様な視点による環境への理解」
 - ・ 他の人の活動を見て、気づきがあった
→達成できたと評価

全体のまとめ

今後に向け：課題

- ▶ 活動の目的①：ステップ②
 - ・ 達成できたかの評価を明確にできるように
ex) 事後調査、モニタリング
- ▶ 環境に関心のない人への啓発
 - ・ どう行うのか考える必要性あり



ご清聴、ありがとうございました。